

市民ヨシ刈りに参加して

比叡・志賀 33期園芸 奥田耕治

1月28日（日）に大津市雄琴のアクティバ湖畔でのヨシ刈りに参加してきました。湖畔でのヨシ刈りは琵琶湖大橋米プラザや石山蛸谷、今回の雄琴に続いて下阪本と同窓会の地域活動の一環として参加するのは4カ所です。大津市が直接関与するヨシ刈り会場は雄琴ですが他の会場では主体がその地域の自治連合会になります。参加者はその地域の住民が中心ですが、その地域に立地する企業や学校関係者、各種団体の方々が多く参加しています。それぞれの地域性もあって石山蛸谷では瀬田川河畔に数多くある大学の漕艇部の学生が参加していましたので他の湖西の会場とは少し趣が異なり若さがみなぎっていました。勿論、今回の雄琴のヨシ刈りでもわが同窓会員を含めて数百人規模の参加者で地元の小中学生やスポーツ少年団が多数参加していました。同窓会からは30名の参加者があり、何よりうれしく思いましたのは在校生が15名でした。これらの方々とは卒業と同時に同窓会会員になっていただけのものとは心強く感じました。開会式で市役所の関連部署の責任者と地元自治会の会長より挨拶と注意事項の伝達ののち、私たちは全員で記念写真を撮り作業開始しました。ヨシ刈り作業そのものは1時間強で終わりましたが前々日来の降雪で会場には薄化粧程度の残雪があり、例年に比べて足場のぬかるみは予想を超えて大変難渋しました。中にはぬかるみに足を取られて倒れそうになる方もおられたようです。例年のことですが少し早めに会場に到着して開会式場の真ん中に同窓会の幟を2本立てて参加者の目印としました。お陰さまで会員は勿論のこと在校生の方たちも迷うことなく参集され出欠の確認はスムーズに行うことができましたが、無事に作業を終えて地元の婦人会の皆さんのおもてなしのトン汁で冷えた体を温めることができ、また、その間短い時間でしたが会員と在校生の交流も出来ました。また地域活動部山口部長がヨシ刈りの意義や同窓会の参加履歴などの資料を在校生の方に配布しました。在校生にとってはボランティア活動に参加したという証になると同時に報告書の作成に大いに役立ったのではないかと思います。作業中、岩田支部長が毎日新聞社の記者からインタビューを受けていましたので記事になっているかもしれません。楽しく無事に作業を終えることがなりよりでした。それぞれが飲み物とちょっとしたお土産をいただいて帰路につきました。



会場での説明



集合写真